

災害時のごみの出し方

大きな災害が発生した場合、大量に発生するごみの処理が大きな問題となります。スムーズな処理を行い、早期の復興復旧のため、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

災害時のごみ出し5か条

その1 ごみの収集が停止！

発災直後は、ごみの収集が停止する場合があります。市からの情報に注意しましょう。

その2 「腐敗性ごみ (もえるごみ)」の収集を優先！

収集が停止した場合、ごみは自宅で保管しましょう。生ごみ、オムツなどの「腐敗性ごみ (もえるごみ)」から優先して収集を再開していきます。もえないごみ、連絡ごみ、資源物は再開まで引き続き自宅で保管してください。



その3 「片付けごみ」は分別して仮置場へ！

地震などの後、自宅の片付けをすると壊れた家具や食器などがたくさん出てくる場合があります。これらは「片付けごみ」といいます。「片付けごみ」は集積所や道路に出さず、市が設置する仮置場へ分別して持ち込みましょう。

なお、災害で発生したごみ以外は持ち込まないでください。



その4 1週間分の携帯トイレを用意！

自宅のトイレが使用できない場合に備えて、1週間程度の携帯トイレを用意しておきましょう。使用後の携帯トイレは「腐敗性ごみ (もえるごみ)」として分別して出してください。

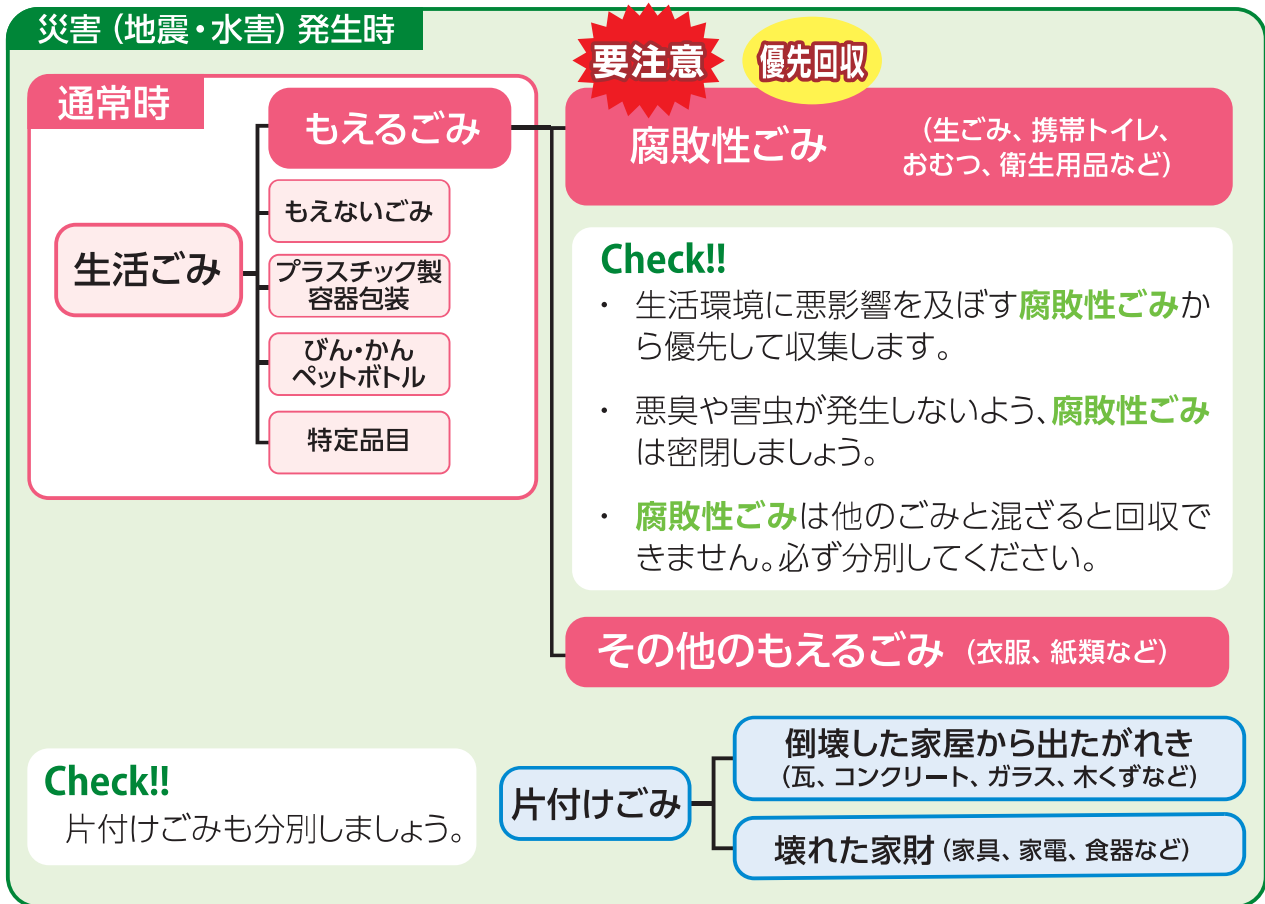
その5 不要不急のごみ出しは控えましょう！

「早くごみを出してしまいたい」と思いがちですが、腐らないものなど急いで捨てる必要のないごみは自宅で保管しましょう。

災害発生からごみ収集までの流れ

発災直後	およそ3日後～	およそ2週間後～
<p>家庭ごみの収集停止</p> <p>集積所に出さず、自宅で保管してください。市からの情報に注意してください。</p> <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災ホットメール ・防災無線 ・市HP、SNS ・テレビやラジオ、新聞 など 	<p>もえるごみのうち「腐敗性ごみ」から収集開始</p> <p>急いで捨てる必要のないごみは、できるだけ自宅で保管しましょう。</p> <p>【自宅で保管するごみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もえないごみ ・資源物 ・連絡ごみ <p>要注意</p>	<p>仮置場の開設</p> <p>地震で発生した「片付けごみ」の集積場所を開設します。分別した片付けごみを自己搬入できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瓦やコンクリート片 ・壊れた家電製品

災害時は、ごみ分別方法が変わります！



携帯トイレの備蓄をしましょう！

携帯トイレや簡易式トイレが便利です。災害が起こる前から用意しておきましょう。

Check!! 目安として1人1日5回分×1週間=35回分の携帯トイレや簡易式トイレを用意しておく心安いです。